

# 新型コロナウイルス感染症（COVID-19） に対するNCNPの取り組み

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター(NCNP)

理事長 水澤英洋

認知症センター長 塚本 忠

2020年8月31日、フクラシア東京

# COVID-19に対するNCNPの対応の経過

日付	対応事項
2020/1/8	中国での原因不明肺炎の集団発生に関し注意喚起の院内メール
1/15	中国の原因不明肺炎の情報提供
1/27	東京都福祉保健局からの情報周知・中国からの入院患者対応についての検討
1/29~2/4	中国からの入院患者対応手順の発信・周知・ポスター貼付。 面会者向けに「マスク持参周知ポスター」掲示
2/10	他施設での受け入れ困難な精神疾患・重心患者のCOVID-19陽性例の受け入れ方針を周知
2/13	PPE直脱手順の動画作成し電子カルテに掲載。病棟でのPPE着脱演習開始
2/14	受け入れ時の患者の流れ・注意点を関係者へ伝達
2/19	正面玄関に手指消毒剤ディスペンサー設置、患者・面会者出入り時の手指消毒介入
2/20	外来でマスク未着用患者の検温開始：発熱外来 37.5度以上で対応。会合中止
2/28	出勤前検温の実施・記載、面会外出泊制限
3/2	面会制限ポスター掲示・HP掲載
4/2	NCNP全体のCOVID-19対策本部発足（毎日～隔日でWeb会議）

# NCNP内のCOVID-19発症者への対応

- **NCNP職員A氏(29歳 研究所職員)**
  - 3月30日 体調不良
  - 3月31日 発熱(38.7℃)にて自宅待機
  - 4月 1日 同職員の家族がPCRでSARS-CoV-2陽性
  - 4月 2日 PCR施行し6日陽性判明 → 職場の消毒実施、接触者を自宅待機
  - 4月 7日 保健所とICT(感染制御チーム)の間で情報共有し方針決定
  - 4月 9日 NCNP病院ホームページで公表
- **NCNP職員B氏(A氏の濃厚接触者 28歳)**
  - 3月27日 ほぼ無症状のA氏と接触
  - 4月 3日 自宅待機中、発熱
  - 4月 8日 PCR施行し陰性
- **4月13～30日 病院でも発熱などの疑似患者(患者、職員)に対して、PCR検査、自宅待機などで対応。**

# 他院からのPCR陽性精神疾患患者の受け入れ と 当院でのPCR陽性患者発症時の対応

- ① 5月 7日 COVID-19診療対応チームを多職種により結成  
5月11日 病院玄関におけるトリアージ開始 (26日まで)  
6月 8日 個室対応の可能な病室がある 1 病棟 (41床)をCOVID-19専用病棟として  
同病棟の全患者を他病棟に移動あるいは退院させ、他院からの受け入れ開始を決定  
6月10日 他院より精神疾患のCOVID-19患者1名、11日、22日、25日に1名ずつ計4名の受入れ  
7月21日 全員症状が改善し、他院へ転院
- ② 7月12日 医療従事者 C (39歳) 発熱  
7月16日 一般病棟患者 D (57歳) 発熱し LAMP法で陽性、医療従事者 C もLAMP法で陽性(この時は無症状)。いずれも感染経路は不明  
7月17日 患者 D は指定病院に転院、医療従事者 C は自宅待機。同病棟の全患者にPCR検査実施  
7月19日 そのうち患者1名 E (85歳)のみPCR法で陽性。病棟職員全員のLAMP法検査施行し陰性を確認。  
医療従事者 C がPCR法でも陽性であることを確認  
7月20日 患者 E は指定病院に転院。他の患者・職員は全て陰性であったが、職員の濃厚接触者  
19名は2週間の自宅待機 (8月1、2日に全員無事職場復帰)  
7月30日 患者 E は陽性確認後10日経過かつ症状軽快後72時間経過したため、原疾患治療のため当院へ帰院 (LAMP法で8月13日に陰性化)
- ③ 8月 7日 当初のCOVID-19専用病棟は従前に戻し、新たに4病床をCOVID-19 (軽症) 用として開設  
8月18日 他院より認知症のCOVID19患者1名(91歳) を受入れ

## まとめ

1. 精神科疾患あるいは認知症を有するCOVID-19患者（軽症）を他院より受け入れた。
2. 看護師1名を含む職員2名がSARS-CoV2陽性となったが重症化せず、その後職場復帰した。
3. 神経疾患の患者2名がCOVID-19陽性となった（いずれも軽症）。1名は認知症があるものの、歩行障害で移動制限があり、感染拡大にはいたらなかった。
4. 院内で発生した時には、他院からの患者受け入れの後であったためその経験を活かすことができた。
5. SARS-CoV2の感染に関しては、日頃のマスクや手指消毒の徹底により、院内発症の患者を2名に止めることができ、クラスター発生を起こさなかった。
6. COVID-19対策として患者の移動や身体リハビリテーションの制限があり、身体機能、認知機能への影響が懸念される。
7. 認知症センターへの受診者が減っており、早期対応が不十分になる可能性がある。

# 謝辞

## NCNP感染防止対策室

室長 中川 特命副院長  
小澤慎太郎 感染管理認定看護師  
徳永恵美子 感染管理認定看護師

## 院内感染防止対策委員会（ICC）

委員長 三山副院長

## NCNP病院COVID-19診療対応チームリーダー

有賀 元 医長（消化器科）